

令和8年度 浜松市立和地小学校

第1回 学校運営協議会

令和8年5月13日(水)

14時30分～16時30分

相談室

司会：教頭

※第1回は授業参観がありません。

- 1 校長挨拶
- 2 会長選出
- 3 会長挨拶
- 4 新委員の紹介
- 5 議長選出（順番により岡井さん）
- 6 熟議（進行：議長）
 - (1) 学校運営の基本方針について
 - (2) 今年度の取組について
 - ・和地っ子応援団の活動について
 - (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
 - (4) その他
 - ・本年度協議会の目標について
 - ※昨年度の学校運営協議会自己評価より
- 7 連絡
 - ・写真について
 - ・卒業文集について

○ 和地小学校運営協議会組織

委員一覧

会長	宇津山 茂
委員	松木 和見
副会長	田中 恵子
委員	牧田 眞喜夫
委員	岡井 保
委員	牧田 正稔
委員	浦岡 紀子
委員	鈴木 裕美
委員	高林 秀平
委員	下位 真由美

学校職員

校長	青島 秀典
教頭	櫻井 利幸
主幹教諭・CS担当	中西 啓介
CSディレクター	石野 恵実

○ 本年度の協議会計画

第1回	令和8年5月13日(水) 14:30~16:30
第2回	令和8年7月1日(水) 13:00~15:00
第3回	令和8年10月14日(水) 14:30~16:30
第4回	令和9年2月17日(水) 13:00~15:00

※第2回、第4回は、5校時(13:15~14:00)の参観を含みます。

第3回はクラブ参観になります。

(様式1)

令和 8年 5月14日

浜松市立和地小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 様

浜松市立和地小学校運営協議会
会長 宇津山 茂

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和8年5月13日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① キャリア教育を推進し、自分の生き方について考える機会があるとよい。
⇒6年生の総合的な学習の時間に、本校出身のプロサッカー選手を講師に招き講演をしていただいたり、未来授業で地元の社会人から仕事や生き方についての話をしたりしていただく。
- ② 子供たちは地域ぐるみで育てることが大切である。学校での教育活動に地域の人材が活用できるとよい。
⇒地域の方に講師やボランティアを依頼し「クラブ活動」「読み聞かせ」「地域学習」などの活動に取り組む。

(様式1)

学校番号 (小・中 42)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(和地小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・2期目に入るため、新委員と共に、子供たちが、より安全に安心して生活し、学びが深まる学校になっていくための熟議を行う。
- ・実際に担任している学校職員も協議会に参加してもらい、より充実した支援活動にする。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

学校運営の基本方針の説明を受け、目指す子供像や合言葉「わじっこ」つけたい力について、委員それぞれの考えを出し合い、学校の取り組もうとしている内容について理解を深めることができた。また、学校評価の項目についても意見を出し合い、改善点を熟議することができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

学校現場のニーズに即した支援内容を協議でき、「わじっこ応援団」による授業や校外活動への協力体制も整った。具体的な成果として、交通安全対策や集団下校見守り、草刈り実施などが挙げられた。一方で、ボランティアの人員確保や参加者の偏りが今後の課題として共有された。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

学校ブログ等で保護者や地域へ学校運営協議会や支援活動の様子について情報発信した。今後は学校だよりの活用などを通じ、地域や保護者に対して運営協議会の存在や活動実態をより積極的に届ける工夫が重要であると共有された。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

本年度、学校職員の参画や「わじっこ応援団」の体制整備が進んだ成果を基に、来年度は活動のさらなる周知と支援の輪の拡大を目指す。具体的には、学校の困りごとを吸い上げ支援につなげる仕組みを持続可能な形へブラッシュアップし、行事のみ参加の保護者層へもボランティア参加を促す。地域全体で学校を支える雰囲気を作り、より地域に開かれた学校の実現に向けて熟議と実践を深めていく。